

あらゆる賞賛は、アッラーのもの。アッラーは、比べ得る何ものもない唯一者であられる。私は、アッラーの外に崇拝する存在はないことを証言し、また、ムハムマドは、アッラーの使徒であることを証言する。

信者たちよ。アッラーは、クルアーン・雌牛章において述べられている。

「われを思いなさい。そうすれば、われも、お前たちのことを思うであろう。われに感謝し、恩を忘れてはならない。」(2章 36節)

アブー・フライハは、預言者さま SAW が次のように言われたと、伝えている。「アッラーには、一群の絶えず移動する天使がおり、ズィクルの集会があると、それに参加し人々と共に座る。人々と天使たちの間は、天使の翼で覆われるほどになる。ズィクルの集会が終ると天使たちは天に昇る。アッラーは、元より彼らについて御存知であるが、彼らに、『どこから来たのか。』問われる。天使たちは、『私たちは地上のあなたさまのしもべらのところから来ました。彼らは、スブバーナッラー！と唱えてあなたさまを讃美し、アッラーフ・アクバル！と唱えてあなたさまの偉大さを讃え、ラーイラーハ・イッラッラー！と唱えて、あなたさまの唯一性を証言し、アルハムド・リッラー！と唱えてあなたさまを賞讃しています。また、あなたさまに懇願もしております。』と答える。アッラーが、『彼らは、何を願っているのか。』と問うと、天使たちは『彼らは、天国に入ることを願っています。』と答える。アッラーは、『彼らは、天国を見たのか。』と問われ、天使たちは、『いいえ。主よ。』と答える。アッラーは、彼らが、『もし、天国を見たならば、どうするのか。』と言われるが、天使らは『彼らは、あなたさまの御加護を願っております。』と答える。アッラーは、『何に対して彼らは、御加護を願うのか。』と言われると、天使たちは、『主よ。業火からです。』と答える。アッラーは、『彼らは、業火を見たのか。』と言われ、天使たちは、『いいえ。』と答える。アッラーは、『彼らが業火を見たならばどうするのか。』と言われるが、天使らは、『彼らは、あなたさまの御赦しを願っております。』と答える。それに対し、アッラーは、次のように言われる。『われは、彼らを赦し、彼らの懇願するものを与え、彼らが願っていることに對し加護を与えるであろう。』天使たちは、『主よ。しもべたちの中には、罪を隠した者もあり、彼は、たまたま、集会の近くを通りかかり、人々と一緒にそこに座っただけです。』と述べるが、アッラーは、『彼に対しても、われは、赦しを与えよう。ズィクルの集会に参加した者たちと席を共にした者が不幸であってはならないからである』と言われる。」 誠、アッラーに思いを寄せるということは、魂の守りであり、心に対する力づけであり、気持ちに対する栄養であり、御赦しを頂く手段である。アッラーは、クルアーン・部族連合章において述べておられる。



大塚マスジド 金曜日礼拝ホトバ 要約
(2023年12月22日)
いつでもアッラーに思いを寄せようではないか

「…アッラーを多く唱え、思いを寄せる男と女、これらの者たちのために、アッラーは、罪を赦し、とても大きな報償を御用意なされる。」(33章 35節)

アッラーに思いを寄せるということは、魂への活力であり、心が平穏であることの元である。

アッラーは、クルアーン・雷電章において述べておられる

「…アッラーを思い唱えることにより、心の安らぎが得られないはずがないのである。」(13章 28節)

アッラーを心から思う信者は、至高御方によって守られ、悪魔の悪さをうけない場所が与えられる。そうした信者は、その場所を離れないならば、悪魔の悪におびやかされない。それ故、アッラーを思う機会をふやすよう努力し、祈願に熱心であり、そして、子供たちにそのことを教えてあげようではないか。朝に、夕に、旅の途中で、家で、飲んだり食べたりする時に、いかなる時にもアッラーに思いを寄せるようにしようではないか。

アッラーは、クルアーン・合同礼拝章において述べておられる。

「…アッラーを讃えて多く唱えなさい。きっと、お前たちは、豊かになるであろう。」(62章 10節)

立っている時、座っている時、あらゆる場面で、アッラーに心から思いを寄せるようにしようではないか。

預言者ムハムマド、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当なカリフ、アブーバクル師、ウマル師、ウスマーン師、アリー師と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

アッラーよ。常に、あなたさまに思いを寄せられる者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを愛し、預言者さま SAW を愛する者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。何時でもあなたさまを顧みて感謝し、満足を知る者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

アッラーよ。日々の生活に活力と喜びを、そして安心と安全を御与え下さい。アーミーーン

